

パブリックコメント項目別意見に対する観光基本計画策定委員会の対応案

項目	NO	意見内容	策定委員会対応案
全般	①	・世界を視野に入れた基本計画を策定すべき	・「わが国を代表する観光都市鎌倉」としての認識の基に、本計画を策定しています。
	②	・観光産業を鎌倉経済活性化の基盤として位置づける決意が必要。 ・観光を「もてなす」という面からのみ捉え、「安全で快適に楽しめる」観光地だけであろうとすれば、どこかで行きづまりが生ずる。	・本市にとって観光関連産業を経済活性化の基盤として位置づけることは必要と認識していますが、本市の場合その前段として、観光都市と住宅・生活都市の二面性を両立させることと、歴史・文化都市としての伝統を継承することが大切であり、このことを実現することが、観光客及び市民にとっても魅力あるまちとなり地域経済の活性化につながると考えています。
	④ ⑪	・対象が旧鎌倉地域に限られ、大船・腰越などが抜けている印象がある。	・本計画は、市域全般を対象としています。今後、目標を実現するためのアクションプランを策定する際に、地域性についても留意していきます。
	⑩	・鎌倉としてのコンセプトをひとつ作るべき。	・本計画のコンセプトは、基本理念である「住んでよかった、訪れてよかった」と思えるまちを育てることだと考えています。
I-1 第2期鎌倉市観光基本計画の目的と位置付け	⑦	・都市マスタープラン、環境基本計画は独立させる方が良い。さらに景観計画の枠を追加して欲しい。結果、下の枠にある景観計画のかわりに住宅マスタープランを明記して欲しい。	・都市マスタープランと環境基本計画は、同じ位置で別の枠で表記します。 【修正：P. 2】 ・景観計画は、分野別計画のひとつとして位置づけています。 ・住宅マスタープランは観光と直接的な関連が薄いので、その他の計画に含まれるものとします。
	⑬	・景観計画の取り組みと連動して欲しい。	・まちの顔として景観は本計画とも密接に関連していることから、本計画の策定、実施にあたっては、景観計画との連携を図っていきます。
I-2 平成8年以降の	⑦	・「現況」と「第1期の評価」が書かれている。小見出しをつけて欲しい。	・「(1) 観光の現況」、「(2) 第1期観光基本計画の評価」と小見出しをつけます。 【修正：P. 4】

鎌倉の観光を取り巻く環境	⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地・リゾート地としての鎌倉の問題点 ①歴史的古都としては自然環境が旧態依然のまま神社・仏閣が質素で、参詣・観光客に飽きられ、海水浴場としては海の景観がいま一つで、海水汚染が心配されて、海水浴客に敬遠され、リピーター客が減少している。 ②道幅不十分、駐車場不足で車利用客の不便が一向に解消されない。 ③歴史上の人物、征夷大將軍で武家政治創始者の源頼朝の祀り方、墓が粗末過ぎて参詣客の期待を裏切りイメージダウンを誘う。 ④鎌倉での遊覧時間が短かく済むため、遠来客、旅行代理店の間で、宿泊地は便利で賑やかな東京、横浜か温泉に入れる箱根、伊豆で、鎌倉は休憩だけで安上がりの観光ルートが定着している。 ⑤県都や地域中心都市でないうえ、居住人口も現状多くないので、ビジネスや私用を兼ねた観光、宿泊客が多くは期待できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の問題点は、本項目の中でも概略をふれています。また、後述の目標やアクションプランの項目では、「長期間滞在したくなるようなイベント」、「宿泊情報の充実」、「年間を通して魅力ある海浜の創出」をうたっています。
	⑩	<ul style="list-style-type: none"> ・平成8年度策定時に比べ観光客数が減少しているが、現状で適当なのかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画のアクションプランの目標指標では、観光客や市民の満足度の増大を第一の目標としています。
I—3 第2期観光基本計画の策定に向けて	②	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体が連携する推進体制の構築は、鎌倉観光産業活性化の戦略手段として絶対に必要な事であり、実行が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画では地域全体で観光振興に取り組む姿勢を共有していくことが重要と考えており、そのためには、多様な主体が連携する推進体制の構築が不可欠と考えています。
	⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画策定委員会の役割、活躍を載せて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・策定委員会については、計画書としてまとめる際に明記します。
	⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・最後に、策定の経過を明記して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書としてまとめる際に、明記します。

	⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・関連業種に海水浴場、美術館、ギャラリー、花火、芸能等を追加。 ・P7 下段にNPO、市民団体及び行政の各課（関連課）を枠で追加し、観光行政は市の重点事業であることを記して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の業種は「観光事業者」に含まれますが、それぞれの主体の内容について、別途各主体の説明を設けます。 【修正：P. 5】 ・「市民」を「市民・市民団体」に修正します。 【修正：P. 6】
	⑩ ⑪	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体が議論して取り組んでいくことは大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画では地域全体で観光振興に取り組む姿勢を共有していくことが重要と考えており、そのためには、多様な主体が連携する推進体制の構築が不可欠と考えています。
Ⅱ—1 基本理念	③	<ul style="list-style-type: none"> ・観光の計画なら「訪れてよかった、住んでみたい」になるのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画では、市民が鎌倉の持つ魅力を国民共有の財産と認識し、観光客と共存できるまちを育てていくことが重要と考えています。このために、基本理念は「住んでよかった、訪れてよかった」という表現にしています。
	⑪	<ul style="list-style-type: none"> ・市民との共存、鎌倉都民の理解は大切。 	
	⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・「鎌倉らしさ」の一言は抽象的。 ・下から8行目は、「継承することが最も大切であると考えます。」 	
Ⅱ—2 計画のめざすところ（将来像、目標）	②	<ul style="list-style-type: none"> ・（目標1）鎌倉観光産業を鎌倉経済活性化の支柱と位置づけ、将来の市民経済を潤し、鎌倉経済が依拠しうる産業としていく。 ・（目標2）観光産業を中心にして、鎌倉文化の向上と創造をうながし、そして他地域へ文化の発信を行うと同時に、古人への敬慕心を高め、遺跡文化の保護と啓蒙に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・策定委員会でも、ご意見と同様に、本市が歴史・文化都市としての伝統を継承し、まちとしての魅力を増進し、他地域へ発信していくべきだと考えています。
	③	<ul style="list-style-type: none"> ・「～します」「～となるでしょう」と客観的な表現が多い。「～して、～となる」など能動的な記述とするべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に「～できるように、～します」との文体に修正します。 【修正 P. 8、9】

	⑦	・目標なので、文章の語尾を目標文章体に統一して欲しい。	
Ⅱ—3 基本方針	②	・（方針5）大いに期待するところである。	・地域一丸となって推進できるよう市も主体的に取り組みます。
	⑦	・（方針3）鎌倉らしいもてなしはあいまいなので、伝統と創意工夫のもてなしにして欲しい。	・「鎌倉らしいもてなし」については、P. 13で例示しているとおり、今後市民も含め地域全体で観光客を受け入れることを「鎌倉らしいもてなし」としています。
		・方針3…目標1、方針1、4…目標2、方針2、5…目標3にあたるのではないか。	・Ⅱ—2計画のめざすところは、10年後の将来像を描いた目標で、一方、基本方針は、この将来像を実現するために必要なバックボーンともいべきものであり、各目標の項目に横断的に対応しています。
Ⅲ—1 実施主体	⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・「鎌倉らしいもてなし」→「観光客へのもてなし」 ・「来訪者の満足から地域全体の満足」→「来訪者の満足と」 ・主体にNPO、市民団体も入れて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市ではこれまで、ややもすると市民が観光客をマイナスイメージでとらえることがありましたが、今後は、市民も含め地域全体で合意して観光客を受け入れることを「鎌倉らしいもてなし」と表現し、点線の中具体的な例示をしながら説明しています。 ・「来訪者の満足から」を「来訪者の満足と」に、「市民」を「市民・市民団体」に修正します。 【修正：P. 12】
Ⅲ—2 推進管理	③	・行政評価のように、その成果を検証することが必要。	・関係者等による進行管理組織を設置し、毎年度、評価し公表します。
	⑦	・1年毎に評価委員会で成果を見とどける作業が必要。	
Ⅲ—3 目標指標	⑬	・観光客数を増やすことを市民は望んでいない。	・本計画のアクションプランの目標指標では、観光客や市民の満足度の増大を第一の目標としています。
	⑭		
	⑬	・観光客数より満足度を高める視点は大事。	

	⑮	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の実態を検証する上で、入込み客数の実態を把握する必要がある。 ・ありきたりなアンケート調査ではなく、少人数でも直接聞き取りによる生の声の把握が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入込み観光客数調査は、県下統一した手法で毎年実施しています。その手法等については、県とともに調査・研究しています。 ・アンケート調査の手法については今後検討していきます。
Ⅲ—4 構成	②	<ul style="list-style-type: none"> ・(目標3)全体をコントロールし、合理的戦略的にマネージする指令部門がなくてはならない。本来、行政ないし観光協会自らその意識を持って、その任務を担当しなければならないはずである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画全体をマネージメントする役割は、市が担っています。
	③	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な取り組みがなく「人まかせ」の感じが強い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画の実現には、多様な観光主体が一体となって取り組む必要があり、それぞれの主体が取り組む意識で示しています。
	⑪	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネートしていく仕掛け人が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画全体をマネージメントする役割は、市が担っています。個別事業のコーディネートは、アクションプランで位置付けられた実施主体を中心に行います。
Ⅲ—4 個別アクションプラン	②	<p>(全般) 一つ一つの行動の取り組みの主体者が、観光事業者、観光協会、市民、行政、などばらばらであり、「ネットワークを図ったり」、「総括」できる司令塔となるような主体が設定されていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画全体をマネージメントする役割は、市が担っています。今後、「多様な観光主体が一体となった組織」を立ち上げることをアクションプランでうたっており、この組織が、全体のネットワーク作りや、総括をする役割を担います。
	⑤	<p>(全般) 観光課だけのアクションプランでなく、関連他部門との連携をより強化して、一つ一つのPDCAを行なう必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画策定にあたっては、市役所関係課による検討会を設置し連携してきており、進行管理にあたっては同様にいきます。

	<p>⑦ (全般)・行政の取り組み(担当課)を詳しく書いて欲しい。</p> <p>・フィルムコミッション、鎌倉検定の担当課は。</p> <p>・花火大会の当日ゴミ分別ボランティアや翌日清掃ボランティアの活躍は大きい活動なので明記して欲しい。</p> <p>・野村総研跡地の観光利用に専門担当を作り、活動を公表。</p>	<p>・アクションプランの項目ごとに、今後、詳細に記載していきます。</p> <p>現在のフィルムコミッション等の担当課は以下のとおりです。</p> <p>・フィルムコミッション・・・観光課</p> <p>・鎌倉検定・・・(窓口)商工会議所</p> <p>・花火大会の清掃等・・・美化衛生課、観光協会</p> <p>・野村総研跡地・・・文化・教養施設整備担当</p>
	<p>⑪ (1-ア)・観光事業者の自発的なもてなす意識の醸成が必要では。</p>	<p>・観光事業者のもてなす意識の醸成は必要と考えており、そのためには、講座等による養成も重要と考えています。</p>
	<p>⑥ (1-ア)既存の施設やサービスをより充実させ、受け入れ時間や参加可能人数についてより柔軟に対応できるようにしたり、市内の情報を市の観光関連機関で総合的に把握・案内する。</p> <p>・修行体験(坐禅・写経・精進料理)</p> <p>・「道」を学ぶ(茶道・華道・香道・書道・武士道(礼法・弓道))</p> <p>・芸能(日本舞踊・能・邦楽)・作品づくり(鎌倉彫)</p> <p>・遺跡見学と考古学講座 ・市所有の建築物見学</p>	<p>・具体的な取り組みのご提案であり、各主体による事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>
	<p>⑫ (1-イ)・地域のイベントに行政も関わっていくべき。</p> <p>腰越みなとまつりや面掛行列など、その周知に協力するなど</p>	
	<p>⑬ (1-イ)・芸術家のネットワーク化を図り、アトリエを回ってもらうなどして芸術家と観光客、市民の交流を深めたらどうか。</p> <p>(極楽寺、稲村ガ崎のアートフェスティバルとの連携など)</p>	
	<p>⑦ (1-ウ)・大船地区、玉縄地区の歴史観光宣伝をし、鎌倉を広くとらえる。</p> <p>大船フラワーセンター等。</p>	

	⑧	(1-ウ)・武家屋敷数棟を建設し、テーマパーク「鎌倉幕府」として観光の新たな目玉とする。	
	⑩	(1-ウ)・観光客の消費額が減少しないような取り組みが必要では。	
	⑦	(1-エ)・ホームページに市民のホームページで良いものはリンク参加できるようにする。観光の輪を作る。	
	⑧	(2-ア)・鎌倉アルプスを含め三浦半島の景勝地をまとめて新たに国定公園に制定し、自然環境型リゾートしてイメージアップを図る。	
	⑬	(2-ア)・路地や小道を保存し、観光客も楽しめるようにできないか。	
	⑤	(2-イ)人力車の客引きが道路上でされており、良い印象を与えていない。 ・資格制度(モラル、歴史・文化等の知識等々)を市として設ける等、抜本的規制を考えるべきである。人力車指定待合場所を設けるべきでは。	
	①	(2-イ)電線ケーブル類の地下埋設(共同溝の設置)	
	⑪	(2-ウ)・トイレの一般利用や重たい荷物を一時預かるなどの協力を。	
	⑭	(2-ウ)・観光客の不満の対象である公衆トイレの改修などを積極的に進めるべき。	
	⑧	(2-エ)・神社・仏閣周辺に、各々相応スペースの駐車場を確保して乗用車利用の年寄り、子供連れ、家族客の便利を図る。	

	⑧	(2-エ)・北鎌倉～源氏山～広町・台峯緑地～鎌倉山間に、相模湾と富士山を眺望できるスカイライン自動車道を建設し、新観光ルートとして魅力を増強し、唯一の海岸線ルートの交通混雑緩和を図る。	
	⑧	(その他)・源頼朝を義経と共に相応しい規模の「源神社？」を造営して祀るか、鶴岡八幡宮に合祀して目に見える形で名誉回復を図る。	
その他	④	・議員の立会演説会の写真入り看板が目につく。公職選挙法上問題がないというが、景観が阻害されており問題なのではないか。	・立会演説会等の看板については、神奈川県屋外広告物条例でも適用除外となっており、公職選挙法により判断されることとなります。